

作成日 2002/01/01

改訂日 2024/05/01

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	サンミエース42
供給者の会社名称	エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル株式会社
住所	神奈川県川崎市幸区大宮町1310番
担当部門	RC推進部
電話番号	044-540-0110
緊急連絡電話番号	上記担当部門
推奨用途	食添用一般
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家/化学物質専門家等の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

健康有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(血液 呼吸器系)
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性) 区分3 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示

注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
H318 重篤な眼の損傷  
H370 血液、呼吸器系の障害  
H402 水生生物に有害

注意書き  
安全対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)  
環境への放出を避けること。(P273)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

## 応急措置

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)  
直ちに医師に連絡すること。(P310)  
特別な処置が必要である。(P321)

保管  
廃棄

施錠して保管すること。(P405)  
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

他の危険有害性  
重要な徴候及び想定される非常事態の概要

情報なし  
情報なし

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別  
化学名又は一般名

混合物  
酢酸ナトリウム(無水)と酢酸の製剤

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酢酸ナトリウム(無水物)	58 %	NaCH <sub>3</sub> CO <sub>2</sub>	(2)-692	既存	127-09-3
酢酸	42 %	CH <sub>3</sub> COOH	(2)-688	既存	64-19-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

## 4. 応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。 直ちに医師に連絡すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。 口をすすぐこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医師に対する特別な注意事項	飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。 情報なし 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。 情報なし
5. 火災時の措置	この製品自体は、燃焼しない。
適切な消火剤	棒状水。
使ってはならない消火剤	燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、 消火作業の際には、煙の吸入を避ける。
火災時の特有の危険有害性	消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
特有の消火方法	火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。
6. 漏出時の措置	作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	必要に応じた換気を確保する。 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
環境に対する注意事項	多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉末の場合は、電気掃除機(真空クリーナー)、ほうきなどを使用して回収する。
二次災害の防止策	粉塵が飛散しないようにして取り除く。 微粉末の場合は、機器類を防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。
	少量の場合、吸着剤(土・砂など)で吸着させ取り除いた後、 残りを大量の水で洗い流す。
	必要があれば消石灰、ソーダ灰などで中和する。 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
	床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
	漏出物の上をむやみに歩かない。
7. 取扱い及び保管上の注意	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
取扱い	技術的対策
	蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
	取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
	安全取扱注意事項
	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	保護眼鏡、保護面を着用すること。
	粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	接触回避 衛生対策 安全な保管条件

安全な容器包装材料 施錠して保管すること。  
包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
酢酸ナトリウム(無水物)	未設定	未設定	未設定
酢酸	未設定	10 ppm(25 mg/m <sup>3</sup> )	設定あり

  

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
酢酸ナトリウム(無水物)	未設定	未設定
酢酸	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。  
リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。

手の保護具

状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。  
リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。

眼、顔面の保護具

リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。

皮膚及び身体の保護具

状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。  
リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	固体(粉末)
色	白色
臭い	酢酸臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	引火せず
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	4.55~4.75
動粘性率	データなし
溶解度	50.9%(25℃、水)
n-オクタノール/水分係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	吸湿性あり

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	一般的な取扱いにおいて安定。
危険有害反応可能性	加熱や強酸との接触により分解し、酢酸ヒュームを生じる。
避けるべき条件	加熱、裸火、スパーク、混触禁止物質との接触。
混触危険物質	強酸、過酸化物及び酸化剤。
危険有害な分解生成物	炭素酸化物、酸化ナトリウム。
その他のデータ	情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口  
経皮  
吸入

データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。  
(気体)  
GHS定義による気体ではない。  
(蒸気)  
データ不足のため分類できない。  
(粉じん・ミスト)

皮膚腐食性／皮膚刺激性  
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性  
呼吸器感受性  
皮膚感受性  
生殖細胞変異原性  
発がん性  
生殖毒性

データ不足のため分類できない。  
区分に該当しない(社内資料)。  
眼区分1の成分合計が42 %のため、区分1とした。  
データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。  
データ不足のため分類できない。  
(生殖毒性)  
データ不足のため分類できない。  
(生殖毒性・授乳影響)  
データ不足のため分類できない。  
区分1(血液)の成分が42 %のため、区分1(血液)とした。  
区分1(呼吸器系)の成分が42 %のため、区分1(呼吸器系)とした。  
データ不足のため分類できない。  
動粘性率が不明のため、分類できないとした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)  
誤えん有害性

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が42 %のため、区分3とした。

水生環境有害性 長期(慢性)  
生態毒性  
残留性・分解性  
生体蓄積性  
土壌中の移動性  
オゾン層への有害性

データ不足のため分類できない。  
データなし  
データなし  
データなし  
データなし  
データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。  
内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報  
Marine Pollutant  
Liquid Substance  
Transported in Bulk  
According to MARPOL  
73/78, Annex II, the IBC  
Code

非該当  
Not applicable  
Not applicable

国内規制

航空規制情報  
陸上規制  
海上規制情報  
海洋汚染物質  
MARPOL 73/78 附属書II  
及びIBCコードによるばら  
積み輸送される液体物質  
航空規制情報

非該当  
労働安全衛生法の規定に従う。  
非該当  
非該当  
非該当

特別の安全対策  
緊急時応急措置指針番号

非該当  
情報なし  
なし

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)  
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

酢酸(政令番号:176)(42%)

腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・4該当物質の一覧)

酢酸

非該当

非該当

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

輸出貿易管理令別表第1の16の項

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)

特定農薬(法第3条第1項、平成15年3月4日告示第1号)

毒物及び劇物取締法

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

海洋汚染防止法

外国為替及び外国貿易法

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

水道法

農薬取締法

16. その他の情報

参考文献

ezSDS(JCDB)

国際化学物質安全性カード(ICSC、2006)

RTECS(STNデータベース)

化学品法規制検索システム(JCDB)

原料メーカー(SDS)

社内資料

その他

全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報漏れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。